

日本語表現力強化コース①【文章理論と基本演習の講座】カリキュラム

一読で伝わる文章理論・技術を学ぶ（全4回）

全4回 毎週日曜 10:30~12:50

1	3/23 (日)	一読で伝える文章術 一読一聴・一文一情報・文末表現 + 見出しの立て方 ※ 前課題あり 新楽講師 前課題は「全国発売の情報誌で話題の映画の紹介記事を書く」。第1講で学んだポイントが自身の原稿に反映しているかを確認する。 ★提出期限 3/20 (木) 13:00まで
2	3/30 (日)	新聞記事から学ぶ、品詞の使い方・選び方 ※ 前課題あり 丸山講師 前課題は「ニュース解説(新聞)記事を書く」。新聞記事などを題材に、スピード感のある文章に必要な「品詞の使い方」や「情報の取捨選択法」などを身につける。 ★提出期限 3/27 (木) 13:00まで
3	4/6 (日)	リライト技法・段落・意味なしフレーズ ※ 前課題あり 新楽講師 前課題は「300字でショップまたはグッズの紹介記事を書く」。良質なメディア表現の前提は「読者が目を通すのは一度きり。それでもしっかり伝える」。一読で理解できる文章の特徴を明らかにする。 ★提出期限 4/3 (木) 13:00まで
4	4/13 (日)	メディア表現に不可欠な構成力・流れを作る力 ※ 前課題あり 丸山講師 前課題は「海外ドキュメンタリー番組の字幕を作る(全文訳あり。翻訳作業は不要)」。人気が再燃しているドキュメンタリーなどを題材に、単語の選び方や構成法を学ぶ。 ★提出期限 4/10 (木) 13:00まで

※講師および授業内容などは予告なしに変更されることがあります。

※始業後、講師はクラスの状況をみて教材等を調整・変更することがあります。



講師: 新楽 直樹 / 日本映像翻訳アカデミー (本校・LA校) 代表

雑誌編集、メディア・プランニング会社経営を経て、1996年に日本映像翻訳アカデミーを設立。1000名以上のプロを育成し、「映像翻訳」という職能の確立・定義を行う。編・著書に、「映像翻訳者になろう」、「翻訳者になるための練習問題100」、「ライターになるための練習問題100」、「字幕翻訳とは何か 1枚の字幕に込められた技能と理論」などがある。



講師: 丸山 雄一郎

学生時代から本校代表である新楽直樹に師事し、ライターとしてデビュー。小学館「DIME」「週刊ポスト」「週刊ビッグコミックスピリッツ」などでライター、編集として活動後、講談社「週刊現代」「FRIDAY」「セオリー」などで執筆。現在は、映像翻訳本科のほか企業の社内研修でも講師を務める。

完全リモート受講

日本映像翻訳アカデミーでは、新型コロナウイルスの感染リスク低減が不透明である情勢を踏まえ、東京校ならびにロサンゼルス校で開講する全てのコースを「リアルタイム型リモート(オンライン)方式」で行うものとします。